

山科駅前遊びと学びの拠点複合施設(仮称) 整備・運営構想 (概要版)

第1章 基本事項

●構想策定の背景・目的

- meetus 山科-醍醐「みんなで創るまちPLAN」において、元京都市ラクト健康・文化館への山科図書館の移転・機能充実を図るとともに、本市東部地域初となる大型の子どもの屋内遊び場を併設し、あらゆる世代が集う遊びと学びの拠点としてリニューアルすることを公表
- 本施設の目指す姿など、基本的な考え方を整理し、コンセプトや導入機能、整備・運営手法の方向性等を示すことを目的に策定

●市の上位計画など

- 京都基本構想 ・ 新京都戦略 ・ 京都市はぐくみプラン
- meetus山科-醍醐「みんなで創るまちPLAN」



第3章 整備・運営の考え方

●機能配置と整備・運営

遊びながら気軽に絵本・本を手にとれる空間とするなど、エリアをまたいだ機能配置や、屋内遊び場機能と図書館機能を一体的に整備・運営することを検討

第4章 事業手法・概算事業費

定性・定量評価の結果、本施設の整備・運営手法は、DBO方式を導入予定

●VFM(構想時点) D:Design(設計) B:Build(整備) O:Operate(運営)

	PFI	DBO	DO	DB
VFM	3.9%	10.5%	5.6%	4.4%

VFM(Value For Money): 従来方式(自治体が自ら設計、建設、維持管理・運営を分割で発注する方式)と比べて総事業費をどれだけ削減できるかを示す割合

第5章 事業スケジュール

- 令和 8年度 民間事業者の公募及び選定に向けた準備(要求水準書・実施方針の作成等)
 - 令和 9年度 民間事業者の公募・選定、契約締結
 - 令和 10 ~11年度 設計・施設改修
 - 令和12年度内 施設の活用開始(予定)
- 注 当該スケジュールは変更する可能性があります。

●概算事業費

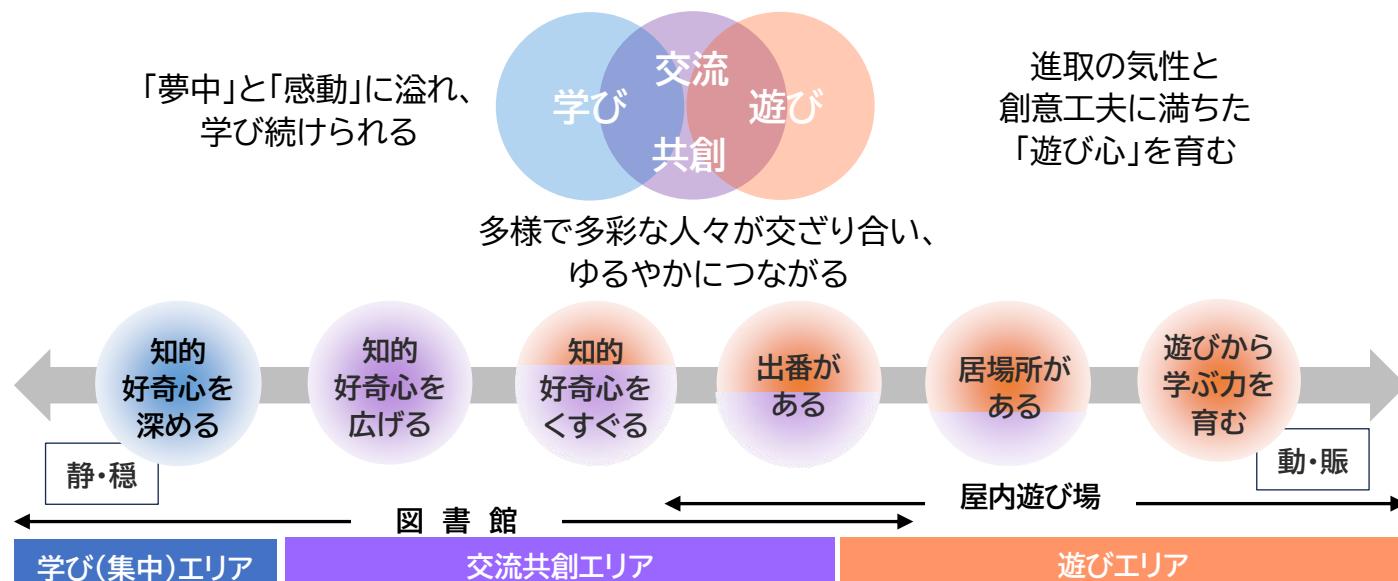
概算事業費:約49.6億円
(参考内訳) 設計・改修費:約25.0億円
管理・運営費:約24.6億円 (15年間の総額)

注 今後の物価や人件費の変動等によって変更の可能性があります。

第2章 本施設のコンセプト

●コンセプト

未来に向けて絶えず変化し続ける
交流 × 遊び × 学び 拠点



体を動かすことができる**遊びエリア**と、集中して読書等ができる**学び(集中)エリア**に加えて、市民の利用シーンを 静・穏から動・賑、動・賑から静・穏と、ゆるやかなグラデーションでつなぐ機能配置となるよう**交流共創エリア**を設けます。

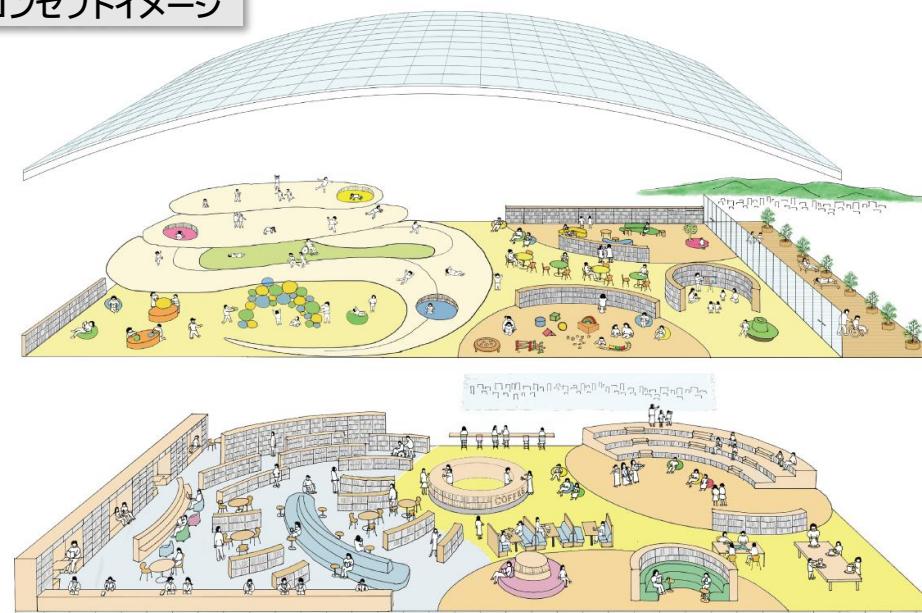
●エリアイメージ

自習室・ワーキングスペース 多様な学び場となる図書館 ラウンジ・カフェ(イメージ) 高低差を活用した遊び場 インクルーシブな遊び場



茨木市「おにクル」茨木市から引用 菊池市中央図書館 丸亀市「マルタス」 掛川市「mirocco」 山形市「コパル」

●コンセプトイメージ



※上図は本施設のコンセプトイメージを示すものであり、平面プランを示すものではありません。

<参考>元京都市ラクト健康・文化館の概要

- 所在地
京都市山科区竹鼻竹ノ街道町91番地
ラクトB 5、6階
- 延べ床面積
2,539.16㎡
(5階1,367.07㎡、6階1,172.09㎡)
- 供用開始時期
平成10年10月開業

ラクトB

